

ちばがくぶし

VOL.2
2025.5

特集：就職支援セミナー、学生インタビューほか



3月5日(水) 千葉学習センター第1講義室にて就職支援セミナーを開催し、12名の学生に参加いただきました。講師には、ジョブカフェちばから東條晶子さん、佐藤勝さん、放送大学の元アナウンサーでもある川口由貴絵さんをお招きし、それぞれ、エントリーシートの書き方、面接について講義をいただきました。講義後には全参加者を対象に面接体験が行われ、キャリアコンサルタントの資格を持つ面接官より、学生一人一人に助言を頂けるなど、充実した内容となり、参加された学生からも高い評価を頂きました。

千葉学習センターでは2025年度についても就職支援セミナーを企画していく予定です。

皆様のご参加をお待ちしています!!

プログラム内容

開会挨拶

【第1部】エントリーシートの書き方について
～ジョブカフェちば～

オリエンテーション

講義：エントリーシートとは

講義、実践：学生時代に頑張ったことの作成ポイント
自己PRの作成ポイント

講義：志望動機の作成ポイント
アンケート記入



休憩

【第2部】面接について① ～川口由貴絵先生～

講義：面接に強くなる秘訣とは

ワークショップ：自己分析シート

講義：印象をアップさせる話し方

実践：発声活舌・自己紹介

質疑応答



休憩

【第2部】面接について② ～川口由貴絵先生～

講義：面接の立ち居振る舞いのポイント

実践：面接体験

総括・閉会挨拶

<目次>

就職支援セミナー、目次	1
千葉学習センター学生インタビュー	2～3
学位記授与式・入学者の集い	4
客員教員からのご挨拶	5
公開講演会のご報告 他	6
在学生へのお知らせ(教務情報)	7～8



<プロフィール>

小川 脩子／おがわ ひさこ

放送大学大学院 文化科学研究科 自然環境科学プログラム 修士課程修了

今回登場いただいたのは、2025年3月に修士課程を修了した小川脩子さん。大学在学時にグランドスラムを達成し、その後大学院修士課程に進んだ経緯など、千葉学習センターで過ごした30年を振り返ってもらった。

豊かな自然に囲まれた町に生まれ、研究熱心な教師と出会う

富山市の中心部から南へ約15km。江戸時代から続く夏の風物詩「おわら風の盆」で知られる山間の町、八尾(やつお)で小川脩子さんは生まれ育った。「周囲に山々が連なり、とても自然豊かな場所で過ごしました。私たち地元の子はおわらを習って、毎年9月1日のお祭り本番を迎えると、汗をかきながら一生懸命に踊ったものです」と、幼少期を振り返る。

地元の公立中学校に進学後、小川さんは後の人生に大きく影響を与える男性教師と出会う。教師の名は桐野秋豊(しゅうほう)さん。八尾の公立校で理科の授業を担当する傍らツバキの研究を続け、60年以上にわたりツバキの研究に情熱を傾けた人物である。「桐野先生の授業はとにかく面白くて。学校のまわりに咲いている植物を観察したり、田んぼでカエルを取ってきて解剖をしたり、身近な教材で私たちに理科の楽しさを教えてくださいました。先生の影響で私も理科が好きになり、当時先生が顧問を務めていた生物クラブに入っていたんです」。桐野さんは当時からユキツバキの研究を行っており、生物クラブに所属していた小川さんも間近でその熱心な研究姿勢を目にしていた。

「『私もいつか植物の研究をしてみたい』。夢中になって研究する桐野先生に憧れ、そう思うようになっていました」。しかしその後、小川さんは家庭の事情により大学進学を断念。数年ほど会社勤めをして、結婚を機に専業主婦に。研究者になる夢は自然と遠のいていった。



小川さんが「私の原点」と語る桐野秋豊さんの本

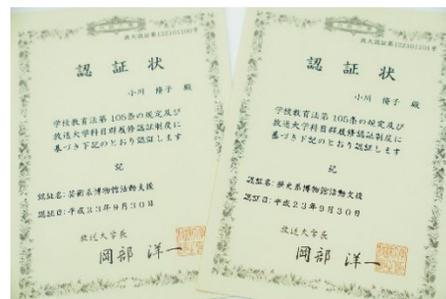
結婚後は2人の子宝に恵まれ、良き妻、良き母として慌ただしい毎日を送っていた。そんな小川さんが放送大学に入学するきっかけとなったのは、最愛の夫を突然襲った病だった。「53歳の時、夫が脳出血になりました。酷い後遺症も残らず社会復帰できたのは良かったのですが、いつ再発するとも分かりません。何かあった時に夫をサポートするには、私が脳の仕組みや病気の事を知っておく必要があるだろう。そう思っていた時に、たまたま公民館で放送大学のパンフレットを目にしました。中を見ると『脳と生体統御』という科目が書かれていたんです」。

放送大学の存在はそれ以前から知っていた。大学進学を諦めた苦い経験から、大人になったらいつか放送大学で好きなだけ学びたいと思っていた小川さんは1995年、夫の闘病の一助になればと52歳で放送大学に入学した。「『脳と生体統御』はもちろんの事、『基礎生物学』や『分子生物学』といった実験をもとに細胞を学ぶ学問は楽しかったですね。学ぶうちに他の科目にも興味湧いてきて、放送大学にどんだんのめり込みました」。専業主婦をしながら放送大学での学びを続け、卒業と再入学を繰り返した小川さんは18年をかけて教養学部全5コースの学士を取得。千葉学習センターで学ぶ女性では初となるグランドスラムを2013年3月に達成した。

「入学後も夫の病気は何度か再発しました。大学で学んだ知識も活かせましたし、時間をやりくりして夫の付き添いやリハビリにもしっかり向き合いました。看病だけの生活でしたら、気が滅入ってしまっていたかも知れませんね。授業や試験に打ち込む事でだいぶ気が紛れていたと思います。放送大学は私の精神的な支えでした」。



グランドスラム達成時に送られた盾を持って



小川さんが保有する2つのエキスパート認証状

入学から30年の春に修士課程を修了。夢はこれからも続く

小川さんのグランドスラム話には続きがある。2013年春に5コース目を卒業した年、放送大学では新たに「情報コース」が新設され、全6コース制となった。そこで小川さんは再入学を決め、数年かけて6コース目の学士を取得。その間、専門分野を習熟した人物のみが認定を受けるエキスパートの資格も取得した。小川さんはこの時既に70代後半。そして、ここから大学院へのチャレンジが始まった。

「情報コースで学んでいた時、植物に関するミニゼミが始まりました。担当していたのは私が修士課程でお世話になった中村俊彦先生です。興味本位でゼミを受講してみると、中村先生は桐野先生のように研究熱心で、とても丁寧に授業を進める先生でした。6コース目の学士を取得直後、中村先生に『修士に進んで植物の研究をしたい』と申し出ました」。

夫の病気を支えるために放送大学に入学し、ちょうど30年の春。2025年3月に小川さんは82歳で修士課程を修了した。2025年度からも修士課程に籍を置き、中村さんの指導を得ながら「自然環境復元学会」にて植物の研究を続ける予定だ。「10代で桐野先生の情熱に触れ、70代で桐野先生と同じくらいの情熱を持った中村先生に出会いました。今後の目標は90歳で博士課程を修了することです」。「放送大学に入る条件は、学びたいという意欲です」。小川さんはそう語り、これからも学び続ける決意を新たにしている。



修士課程で行ったフィールドワークの様子



植物標本を作成する小川さん

ご卒業おめでとうございます



2024年度第2学期 卒業生 222名

令和7年3月22日(土)にベルサール高田馬場において、「学位記授与式」が開催されました。式典は厳かな雰囲気の中、文部科学省からは武部副大臣、総務省からは赤坂官房審議官にもご臨席を賜り、盛況のうちに終了いたしました。その後、場所をホテルニューオータニに移動し、卒業・修了祝賀パーティが開催されました。また、翌3月23日(日)には、千葉学習センターにおいて成績優秀者、名誉学生、最高齢学位記授与者に対し、敬意をこめて所長表彰授与式が開催されました。皆様、ご卒業おめでとうございます。



所長表彰式集合写真



学位記授与式 学長祝辞



卒業・修了祝賀パーティ



所長表彰

令和7年度第1学期 入学者の集いを開催

ご入学おめでとうございます



2025年度第1学期 入学生474名

令和7年4月5日(土)に「入学者の集い」を千葉学習センター大講義室にて開催いたしました。今回、本センターには314名の皆さんが入学されました。合唱サークルの有志による学歌斉唱から始まり、所長、来賓、客員教員からの祝辞を頂きました。式終了後には、新入生ガイダンスが行われ、センターの利用方法や就学上の注意事項等について教務係長より説明が行われました。またガイダンス終了後には、13のサークルにおいて、新入生に向けたサークルの紹介と入会に向けた勧誘活動が行われ、大変賑わいました。ご入学おめでとうございます。



所長祝辞



学歌斉唱



集い室でのサークル勧誘

■ 退任教員挨拶



兼古 勝史先生

専門：音楽教育

着任当初は新型コロナの脅威が社会を席卷する困難な状況でしたが、このような時だからこそ学びの灯を絶やしてはならない、とオンライン授業の工夫などご尽力くださった事務職員の皆様、先生方、不自由な環境の中熱心に授業に参加してくださった学生の皆さんに勇気をいただいたことを今も思い出します。短期集中で深める面接授業、定期的集いながら調査・研究・表現を行うミニゼミを通しての、学生の皆さんとの関わりは本当にかげがえのない体験でした。皆様のご健康と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

■ 新任教員挨拶



潤間 励子先生

専門：医学

私は、平素、千葉大学で学生教職員の安全管理・健康管理に従事しています。ももとは、呼吸器内科医として医師としてのキャリアをスタートしました。現在の職に就いてから、新型インフルエンザ、東日本大震災、COVID-19といった災害を経験しました。その経験から感染症対策や安全管理などについて、放送大学千葉学習センターで「社会と感染症」という面接授業を担当しています。

面接授業では、学生さん方のユニークな視点が非常に勉強になりました。本年度から客員教員として学生の皆様と一緒に学んでいくことをとても楽しみにしております。



八馬 智先生

専門：景観デザイン

私は千葉工業大学のデザイン科学科にて、「景観デザイン」を専門に活動しています。これはデザイン学、土木工学、地理学、文化人類学などの多分野にまたがる学際的な領域であり、人間を取り巻く環境の眺めである景観をつくり出す、あるいは読み解くことについて考えています。

千葉学習センターでは、景観を「観察」することを中心に据えて、ものの見方や見え方を豊かにするプログラムを実践していきたいと考えています。みなさまとの交流を通じて、私自身が新たな視座を獲得することを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。



森山 直人先生

専門：臨床心理学

1年ぶりに学生相談担当として復帰しました森山です。私は研究者ではありません。少年司法、児童福祉、医療福祉、学生相談等の現場で心理専門職として働いてきた者です。放送大学では主にカウンセラーとして、皆さんの困りごと、悩み等にお付き合いさせていただきます。だからと言って、答えを提示したり、インスタントな救いを提供できるわけではありません。皆さんと一緒に考えたり、一緒に悩むことで皆さんが自ら答えや救いにたどり着くのをお手伝いするのが役割だと思っております。どうぞ気楽に、悩んだら早めにご利用ください。

公開講演会のご報告

「ジェンダー平等と日本の教育」



12月8日(土)千葉学習センター前所長片岡洋子先生による公開講演会「ジェンダー平等と日本の教育」を対面とZOOMで開催いたしました。昨年NHKで放送された朝の連続ドラマ「虎に翼」などを取り上げながら、現代の男女平等教育の課題についてなどわかりやすくお話いただきました。当日は150名近い方にご参加いただき、大変盛況な会となりました。

「デジタル時代の目の健康 メカニズムと対策」



2025年2月8日(土)に、こぎつね眼科の高橋信仁先生による公開講演会「デジタル時代の目の健康 メカニズムと対策」を対面とZOOMで開催いたしました。目のしくみ、デジタル時代の目の疾患についてなど詳しくご説明いただきました。講演後の質疑応答ではこたえきれないほどの質問が寄せられ、この問題に対する関心の高さが伺えました。

今後の講演会の予定

2025年6月1日(日)14:00～

放送大学附属図書館AVホール

『我々が住む宇宙の外にも宇宙は無数にある？』

マルチバースと人間原理』

須藤 靖

(高知工科大学 特任教授)

我々の宇宙(ユニバース)は多くの不自然な性質を持っていますが、マルチバース理論や人間原理を認めることで解消できます。この不自然さとは何か、ユニバースとマルチバースの関係、人間原理についての仮説を紹介します。



千葉学習センター所属 磯野水響さんが千葉市より表彰されました!

2025年2月24日(月)、オークラ千葉ホテルにおいて第42回千葉市教育・文化・スポーツ等功労者表彰式が開催されました。

千葉学習センターから磯野水響(いその ひびき)さんが選ばれ、表彰を受けました。千葉市教育・文化・スポーツ等功労者表彰は、郷土千葉市の名声を高めた方々に贈られるもので、磯野さんは2024年アジア大学武術選手権の自選太極拳の部で2位に輝いたことが評価されました。磯野さんの益々のご活躍を祈念しています!!



シニアのための生涯学習フェスタ

2025年2月12日(水)千葉市民会館小ホールにて「シニアのための生涯学習フェスタ」が開催されました。千葉市がシニアの方を対象とするこのイベントでは、「学びを始める 学びを深める 人生が輝く」をテーマにしており、特色のある9つの学習機関が参加し、その場で相談・入学申し込みが可能となっています。

当日は、放送大学の魅力や学習について説明を行い、熱心なシニアの方の質問にお答えいたしました。



在学生へのお知らせ

通信指導について〔学生生活の葉 P67～72(学部)、P72～77(大学院)〕

通信指導とは、放送授業または一部のオンライン授業について、各学期の途中に1回一定の範囲から出題された課題について、その答案を提出し担当教員の添削指導を受けることです。
通信指導を未提出あるいは期限までに提出しなかった場合は、**単位認定試験の受験資格が得られません**ので、必ず締切日までに提出しましょう。

提出先 <https://tsushin.ouj.ac.jp>

(システムWAKABA TOP画面右側「学内リンク」から「Web通信指導」をクリック)



提出期間 **[Web通信指導]**

5月8日(木) 10:00～5月28日(水) 17:00



[郵送※]

5月14日(水)～5月28日(水) 大学本部必着

※郵送提出科目、Web通信指導による提出が困難な方に限ります。

単位認定試験について〔学生生活の葉 P72～82(学部)、P77～86(大学院)〕

単位認定試験は、前学期と同様にWeb受験方式(一部科目については郵送試験)で実施します。
受験資格のある方は、試験日の1週間前までに「単位認定試験通知(受験票)」が届きますので、下表の試験期間中に自宅等からインターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、受験してください。

出題形式により試験期間が異なりますので、ご注意ください。

実施方法	出題形式	試験日程(郵送試験は提出期間)
Web試験	択一式科目	2025年7月16日(水)9:00～7月24日(木)17:00
	記述式・併用式科目	2025年7月16日(水)9:00～7月20日(日)17:00
郵送試験 ※	すべての出題形式	2025年7月16日(水)～7月20日(日)《本部必着》

※郵送試験は、「行政学講説(’24)」、「正多面体と素数(’21)」、「日本美術史の近代とその外部(’18)」、「量子化学(’19)」の4科目のみ。

単位認定試験システム <https://shiken.ouj.ac.jp/>

(システムWAKABA TOP画面右側「学内リンク」から「Web単位認定試験」をクリック)
ここで「体験版」を操作することができますので、事前に解答方法等の操作を確認しておきましょう。



操作体験会

千葉学習センターでは、単位認定試験の操作に不安な方を対象とする操作体験会を、今学期は以下の日時に開催します。

初めての単位認定試験でパソコンの操作が不安な方は、ぜひお申し込みください。

7月11日(金) 10:00～12:00、14:00～16:00

7月13日(日) 10:00～12:00、14:00～16:00



※上記日時に単位認定試験の体験版のパソコン操作の体験ができます。(1回10分～30分程度)
上記日時が都合の悪い場合は、都度対応しますので、千葉学習センターまでご相談ください。

印刷教材の割引購入方法が 変わりました！

2025年4月以降、割引価格(定価の1割引)で購入する場合、千葉学習センターにメールで購入申請を行う方法に変更になりました。※学生証をご提示いただければ学習センター窓口でのお申込みも可能です。

申込に必要なもの

- ・申込書様式
- ・印刷教材商品コード一覧

システムWAKABA
「キャンパスライフ」→
「各種届出・申請様式」
からダウンロード

申込方法

・必要事項を記入した「印刷教材割引購入申込書」を、キャンパスメールから千葉学習センター宛(chibagaku_soumu@ouj.ac.jp)にメールで提出。
※キャンパスメールの使用が困難な方は、学生証提示の上、学習センター窓口にて提出。

受取・支払方法

- ・申込受付後2週間以内を目処に、申込書に記載した住所宛てに、宅配便で発送。(送料無料)
- ・代金を、商品受け取り時に、代引(現金のみ)にてお支払い。

卒業研究ガイダンス

2026年度に卒業研究の履修を考えている方を対象にしたガイダンスをオンラインで開催いたします。当日は、本部教員からのお話や申請方法、質疑応答等を予定しております。

少しでも興味がある方は、ぜひ、ご参加ください。

開催日時

6月22日(日) 15:00~17:00(予定)

開催方法

オンライン(ZOOM)

内 容

- ・情報コース・中谷教授によるお話
- ・事務手続説明
- ・質疑応答

申込方法

申込方法等の詳細は千葉学習センターWebサイトでお知らせ予定(5月下旬頃)

システムWAKABA

放送大学では、システムWAKABAのキャンパスメールや学内連絡でお知らせを随時送信しておりますので、定期的にご確認をお願いします。



『学生生活の葉』と『利用の手引き』

「学生生活の葉」では、放送大学で学ぶに当たって、その方法、留意事項、諸手続きをはじめ、学習センターの利用方法、課外活動等について記載しています。大切に保管し、疑問点が生じたときに随時ご参照ください。



「利用の手引き」は、千葉学習センターの施設利用上の注意事項や千葉学習センターの開所日等の日程表を記載しています。

2025年4月1日以降の開所時間等の変更について

千葉学習センターでは、2025年4月1日以降の開所時間、窓口・電話対応時間につきまして、以下のとおりとさせていただきますので、お知らせします。

【開所時間】

9:30~17:30

【窓口対応・電話対応時間】

9:30~12:00

13:00~17:30 ※12:00~13:00は事務室を閉室します。